

Story

学年通信 8・9月号
東広島市立中黒瀬小学校
第6学年
令和5年8月27日

前期後半が始まります！

前期後半がスタートし、教室に子供たちの笑顔と元気な声が帰ってきました。小学校生活最後の夏休みの間に様々なことにチャレンジし、思い出っばいのすばらしい夏休みになったことと思います。夏休みの貴重な経験を、これからの学校生活に活かしてほしいと思います。

前期後半は、前期の学習のまとめをする大切な時期です。日々の積み重ねを大事にして、一步一步成長して行ってほしいと思います。前期後半も引き続き、よろしくお願ひします。

～平和学習バスに参加をしました～

佐古さんが7月26日に中黒瀬小学校の代表として、平和学習バスに参加をしました。平和記念公園や原爆の子の像を見学し、戦争の恐ろしさや平和の大切さを改めて感じたそうです。佐古さんの感想文を紹介します。

平和学習バスで学んだこと

中黒瀬小学校 六年 佐古 晴香
私は、平和学習バスに参加して、戦争の恐ろしさや戦争を二度としてはいけないという強い思いをもちました。

今回の平和学習バスでは、初めに被爆体験講話を梶矢文昭先生から聞きました。七十九年前のあの日、梶矢さんも通りに一歳年上の姉と玄関の掃除をしていた瞬間、原爆が投下され被爆されました。姉だけが命を落とし、自分だけ助かるなんてと、その日から罪悪感を抱えて今日までを過ごしてこられたそうです。

次に、広島平和記念資料館を見学しました。ぼろぼろになった服や茶色に焦げた三輪車など、悲惨な当時の状況が伝わってくるようなものばかりで、見ていられるだけで痛々しい気持ちになりました。そして、家族を失っても生きる希望を捨てなかった人たちがいたから、今、私が平和に生活することができているんだと思います。「一発の原子爆弾で当たり前の日常が一瞬で失われてしまった」この言葉に、原子爆弾の威力の強さを改めて実感しました。とても悲しく胸が痛みました。

最後に、広島平和記念公園と「原爆の子の像」を見学しました。二歳の時、被爆した佐々木偵子さんは、白血病のため入院し、病気の回復を願って鶴を千羽折った話を聞きました。幼い子も巻き込む戦争の恐ろしさを痛感するとともに、平和を祈って鶴を折る取り組みを受け継いでいきたいという思いをもちました。「悲惨な戦争を二度と繰り返さない」と心の前で誓いました。

私は、実際に被爆体験を聞き、感じたことを次の世代に引き継ぐことを大切にしていきたいと改めて思いました。また、広島平和記念公園を見学している時に、海外から来ている観光客に出会いました。世界中の人が、戦争の恐ろしさや平和について考えるきっかけになっています。私は、辛い状況の中でも生きる希望を捨てずに平和を守って生き抜いた人々の強い意志を受け継ぎ、強く生きていきたいです。

◎9月の予定

3日(火) 委員会
10日(火) 諸費引き落とし日
クラブ
28日(土) 参観日
(9:10~9:55)
環境整備作業・資源回収
(10:10~11:50)
30日(月) 振替休日

◎9月諸費のお知らせ

卒業アルバム積み立て	1000円
テスト下(理、社、英)	1770円
連絡帳②	230円
パーフェクト夏	460円
別冊きたえる夏	100円
学年費	40円
引落手数料	10円
合計	3,610円

引落日は10日(火)です。

9月は再引き落としがありません。
ご協力のほどよろしくお願いいたします。

北広島市子ども大使との交流会を行いました

8月7日（水）の登校日に、北海道北広島市子ども大使との交流会を行いました。北広島市と東広島市は長年、交流を続けています。本年度は、北広島市立大曲東小学校の渡邊さんが中黒瀬小学校へ来てくれました。一緒に平和学習をしたり、折り鶴を折ったりしました。休憩時には、北海道の有名な食べ物や暮らしについて聞くなど、短い時間でしたが交流を深めることができました。



被爆者の証言を聞いたり折り紙に平和への願いを書いて、折り鶴を折ったりしました。



児童会メンバーが中心となって交流会を行いました。また、8月21・22日には、児童会役員の小玉くんが大曲小学校を訪問し、更なる交流を深めました。